

学校法人 河原学園 未来高等学校 R7年度年間指導計画

教科書		芸術		科目		音楽 I		学年		1年次		単位数		2単位	
レポート 添削指導		6週		スクーリング 面接指導		8回		メディア 視聴要		4週		試験		2回	
<p>指導目標 音楽の幅広い活動を通して、生徒が個性を生かしながら思いや意図をもって表現したり味わって鑑賞したりする力を育成し、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる。</p>															
No	日付	レポート 提出日	単元	学習内容	面接 回数	メディア(NHK高校講座)									
1	4月12日	5月22日	歌唱「この道」 楽典「篠笛」 西洋音楽史「古代ヘルネサンス」 楽典「音名・強弱記号等」	<p>【歌唱】日本語の抑揚や間、語感、歌詞としての意味を理解し、自己のイメージをもち歌唱表現を創意工夫する。</p> <p>【楽典】日本の楽器の奏法を学び、音色や奏法の特徴を感じ取る。</p> <p>【西洋音楽史】古代ヘルネサンス期にかけて音楽の誕生や宗教などの要素、日本との時代背景との関係を考える。</p> <p>【楽典】音名の基本的な要素を理解し、楽譜を読む力をつける。</p>	2	1 音楽の世界へようこそ 2 音楽を特徴づける要素を見つけよう 3 日本の歌 4 リコーダーの魅力 5 楽譜と演奏のファンギな関係 6 楽典									
2	5月22日	6月19日	西洋音楽史「バロック期」 楽典「楽譜・音価」 鑑賞「平均律クラヴィア曲集第1巻アレリウド」	<p>【西洋音楽史】バロック期の音楽の立ち位置、器楽曲の発展やJ.S.バッハの功績など、時代背景を踏まえながら理解する。</p> <p>【楽典】音符や休符の種類、音価についての要素を理解し、楽譜を読む力をつける。</p> <p>【鑑賞】J.S.バッハ作曲平均律クラヴィア曲集を鑑賞する。親しみやすいピアノ曲。時代や作曲者の違いによる音楽の特徴を感じ取りながら曲や演奏について根拠をもって批評する。</p>	1	7 日本の歌曲 8 意外に過激？ 9 わらべうた・民謡 10 日本の民謡と芸能 11 東アジア、東南アジアの音楽 12 三線/三味線に親しもう 13 南アジア、西アジアの音楽 14 ずっしり重い音の構築物									
3	6月19日	7月17日	西洋音楽史「古典」 楽典「調号と主音・ソナタ形式」 鑑賞「アヴェ・ヴェルム・コルプス」 器楽「オーケストラ」	<p>【西洋音楽史】古典時代の音楽を学ぶ。歴史上重要人物であるモーツァルト、ベートーヴェンについて深く理解し、音楽形式について学ぶ。</p> <p>【楽典】調号を理解し、楽譜を読む力をつける。</p> <p>【鑑賞】モーツァルト作曲、アヴェ・ヴェルム・コルプスを鑑賞する。混声四部合唱曲ならではの豊かな響きを味わい、根拠を持って批評する。</p> <p>【器楽】オーケストラの仕組みを理解し、楽器の知識を深める。</p>	1	15 いろいろな形式 16 クラシック・ギターを弾こう 17 モーツァルトのオペラ「魔笛」 18 オセアニアの音楽 19 ヨーロッパの音楽 20 ドイツ歌曲の魅力 21 音による文学？									
4	7月17日	10月29日	歌唱「Oh happy day」 西洋音楽史「ロマン派」 器楽「三味線」 鑑賞「バガニーニ」	<p>【歌唱】歌唱アンサンブルを理解し、旋律の美しさや楽譜に書かれている要素を知覚する。</p> <p>【西洋音楽史】ロマン派時代の歴史的背景に触れる。音楽の創作期であるため、多くの作品に触れ、感受性を養う。</p> <p>【器楽】日本の楽器の奏法を学び、音色や奏法の特徴を感じ取る。</p> <p>【鑑賞】主題を元にした変奏曲であることを理解し、旋律や曲想の変化を味わう。</p>	2	22 身のまわりの音を取り込む 23 イタリアの民謡や歌曲、フランスの歌 24 日本の劇音楽 25 ヨーロッパから世界へ 26 ラヴェルのバレエ音楽 27 キーボード・アンサンブル 28 日本の楽器と合奏スタイル									
5	10月29日	11月27日	西洋音楽史「近現代」 楽典「コードネーム」 器楽「世界の民族音楽」 鑑賞「喜びの島」	<p>【西洋音楽史】近代・現代の西洋音楽史について関心を持ち、音楽文化の発展について考える。</p> <p>【器楽】諸民族の声の音楽と日本民謡の比較を通して音楽表現や音楽文化の固有性、共通性を考える。</p> <p>【楽典】和音による音楽の成り立ちを理解する。</p> <p>【鑑賞】ドビュッシー作曲のピアノ曲を鑑賞する。曲を通して近代音楽の形式を感受し、複雑かつ美しいコード進行を味わう。</p>	1	29 篠笛を吹こう 30 折り？音楽？ 31 これもオンガク？ 32 儀式や式典の音楽 33 ヴォイス・アンサンブル 34 アフリカの音楽 35 南北アメリカの音楽									
6	11月27日	1月23日	創作 音楽の著作権について 総合芸術 郷土芸能	<p>【総合芸術】オペラやミュージカルなどの総合芸術において物語と音楽が関わり合いながらどのような表現上の効果をもたらしているか、音楽と他の文化が互いにどのように影響を合して発展してきたかを考える。</p> <p>【著作権】著作権について理解し、社会への影響等を自分なりに考える。</p> <p>【郷土芸能】郷土芸能の学習を通して、音楽文化の固有性、共通性を考える。</p>	1	36 若者の音楽の誕生 37 英語の歌を歌う 38 近代日本のうたの始まり 39 言葉を生かして旋律を作ろう 40 作った曲を楽譜に書いてみよう 41 循環コードで音楽を作ろう 42 エピローグ									
学習の成果に係る評価規準															
<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 ・我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。 ・音楽を形づくっている要素の動きを変化させ、変奏や編曲をする技能を身に付け、創作で表している。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式、構成を知覚し、それらの動きを感受しながら、知覚したものと感受したことの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 ・曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽を形作っている要素を理解しながら判断することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の音楽に対する考え方がどのように変化したかを考えることに関心をもち、主体的・協働的に表現及び歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 ・楽器の響きを感じながら、鑑賞の文化的・歴史的背景の学習で迫ることに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 ・音色や構成を工夫しながらイメージをもって旋律をつくって演奏することに関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。 <p>○上記の評価規準に基づき、レポート及び課題等の提出物の状況、スクーリングに取り組む姿勢及びスクーリングに基づく成果、前期・後期2回の試験結果を総合的に判断して、評価を行う。</p> <p>○【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体的に学習に取り組む態度】の3つの観点ごとに、それぞれ上位からA、B、Cの三段階で評価を行い、その観点別評価に基づき、総合的な評価を5段階（最上位を5とし、最下位を1とする）で評価する。</p>															
単位の修得の認定に関する基準															
<p>観点別評価に基づいて総合的に評価された5段階評価のうち、5～2の評価を受けた者に対して、科目に配当された単位数の修得を認める。</p>															